

環境負荷ゼロへの挑戦

(プラスチックごみゼロ宣言)

プラスチックは、安価で使いやすいことから、現在、私たちの生活に欠かせないものとなっています。その一方、不用意に捨てられたレジ袋やペットボトルなどのプラスチックごみが、河川などを通じて海へ流れ込むことで、海の環境を損なうばかりか、細分化されたプラスチック（マイクロプラスチック）を海洋生物が捕食することによる、生態系に甚大な影響を与え世界的な問題となっております。

笠間市は、八溝山系に属する鷄足山塊につつまれ、中央には涸沼川の悠久の流れに臨み、農地や平地林が広がる豊かな自然に恵まれた静かで落ち着いたまちです。

市では、平成28年3月に「第2次笠間市環境基本計画」を策定し、望ましい環境像「豊かな自然との共生 水と緑の里 かさま」の実現に向けて様々な施策を推進してまいりました。近年、地球温暖化による影響の深刻化をはじめ、生物多様性の保全の必要性など、環境問題を取り巻く状況は変化し、新たな取組が求められております。

これらのかげがえのない財産を守り、未来の子どもたちに豊かな自然を残すため、今後笠間市では、地球温暖化対策として、特に、使い捨てプラスチック削減に向け、住民や事業所への啓発事業や4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）運動の更なる推進を行うなど、「環境負荷ゼロへの挑戦」の実現のため、不断の取り組みを行うことをここに宣言いたします。

令和2年7月1日

笠間市長 山口 伸樹